

教育プログラム・コースの概要

大学名等	近畿大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	新たな治療法開発を支援する臨床研究コーディネーター養成コース(インテンシブコース)						
対象職種・分野	看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、臨床心理士、栄養士等(臨床研究コーディネーターとしての職歴は問わず)						
修業年限(期間)	1年						
養成すべき人材像	がんの新規治療法の開発及び標準治療確立を目指した安全で質の高い臨床試験・治験を支援し、患者中心の個別化医療を実践できる多職種がん専門医療人(臨床研究コーディネーター)						
修了要件・履修方法	<p>修了要件: 必須科目のうち、腫瘍学Ⅰ基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ横断講義(予防・研究開発)に関しては、80%以上出席し履修すること。実習に関しては、合計8時間を履修すること。選択科目は、何れか1つの演習もしくは実習を選択すること。</p> <p>履修方法: オンラインでの講義・演習及び対面での実習・演習。</p>						
履修科目等	<p><必修科目> 腫瘍学Ⅰ基盤講義(医療現場・学際領域)、腫瘍学Ⅱ横断講義(予防・研究開発)、近畿大学病院・臨床研究センター及びKHGRAC実習(6時間)、腫瘍内科・治験症例検討カンファレンス実習(2時間)</p> <p><選択科目> CS演習、SP演習、がんゲノムエキスパートパネル実習</p>						
がんに関する専門資格との連携	がん診療連携拠点病院、ゲノム医療拠点病院の人的要件に関連。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	多職種による共通の臨床腫瘍学講義を受講することで、がんの臨床試験・治験に関する基礎的知識のみならず、患者中心の個別化医療を実践するためのノウハウとスキルを習得する。また、近畿大学病院・臨床研究センター及びARO機能を持つKindai Hospital Global Research Alliance Center (KHGRAC)において、被験者対応等を含む実践的実習を行い、腫瘍内科が実施する治験症例検討カンファレンスにも参加することで、新規治療法開発・研究における諸問題に対応できる能力を習得する。						
指導体制	がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん専門薬剤師等からなる多職種が協働して行う。実習・演習に関しては、上級臨床研究コーディネーターを交えた指導体制をとる。						
修了者の進路キャリアパス	大学病院、がんセンター、地域のがん診療基幹病院での臨床研究コーディネーター						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	全国的な臨床研究コーディネーター・リソース不足を勘案し、受入れ目標人数を1人/年度と設定。						